

読響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

常任指揮者ヴァイグレと
豪華声楽陣&新国立劇場合唱団で響かせる
“**歓喜の歌**”

ベートーヴェン:
交響曲第9番 ニ短調 作品125「合唱付き」
BEETHOVEN: Symphony No. 9 in D minor, op. 125 "Choral"

ウィーン国立歌劇場やメトロポリタン歌劇場、
ベルリン・フィルなどで活躍し、2019年4月から
読響の第10代常任指揮者を務めるドイツの名匠

指揮=セバスティアン・ヴァイグレ (常任指揮者)
Conductor= SEBASTIAN WEIGLE (Principal Conductor)

読売日本交響楽団 第292回日曜マチネーシリーズ

2026**12.20** (日) 14:00 東京芸術劇場
Sunday Matinée Series No. 292
Sunday, 20 December 2026, 14:00 Tokyo Metropolitan Theatre

読売日本交響楽団 SHINRYO presents 「第九」特別演奏会

2026**12.21** (月) 19:00 サントリーホール
Special Concert presented by SHINRYO
Monday, 21 December 2026, 19:00 Suntory Hall

読売日本交響楽団 第698回名曲シリーズ

2026**12.22** (火) 19:00 サントリーホール
Popular Series No. 698
Tuesday, 22 December 2026, 19:00 Suntory Hall

読売日本交響楽団 大成建設 presents 「第九」特別演奏会

2026**12.25** (金) 19:00 東京芸術劇場
Special Concert presented by TAISEI
Friday, 25 December 2026, 19:00 Tokyo Metropolitan Theatre

読売日本交響楽団 第292回土曜マチネーシリーズ

2026**12.26** (土) 14:00 東京芸術劇場
Saturday Matinée Series No. 292
Saturday, 26 December 2026, 14:00 Tokyo Metropolitan Theatre

読売日本交響楽団 第155回横浜マチネーシリーズ

2026**12.27** (日) 14:00 横浜みなとみらいホール
Yokohama Matinée Series No. 155
Sunday, 27 December 2026, 14:00 Yokohama Minato Mirai Hall

ソプラノ=竹多倫子
Soprano= MICHIKO TAKEDA

メゾ・ソプラノ=藤村実穂子
Mezzo Soprano= MIHOKO FUJIMURA

テノール=ニコライ・シュコフ
Tenor= NIKOLAI SCHUKOFF

バス=クワンチュル・ユン
Bass= KWANGCHUL YOUN

合唱=新国立劇場合唱団
Chorus= New National Theatre Chorus

合唱指揮=平野桂子
Chorusmaster= KEIKO HIRANO

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時・年中無休)

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

※観客サービス【東京芸術劇場/横浜みなとみらいホール】株式会社 明日香0120-165-115 (平日10時~17時/公演3営業日前までに予約)
■学生の方は残席がある場合、¥2,000で入場できます (要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から
受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演
が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめ
ご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

<https://yomikyo.or.jp/>

S ¥11,000 A ¥8,800 B ¥7,200 C ¥5,500

年末に響く、究極の「第九」！ 胸に迫る《歓喜の歌》

セバスティアン・ヴァイグレ (常任指揮者)

SEBASTIAN WEIGLE, Principal Conductor

2019年4月から読響第10代常任指揮者を務めるドイツの名匠。ベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者として活躍後、指揮者に転身。バルセロナのリセウ大劇場とフランクフルト歌劇場の音楽総監督として手腕を発揮し、高い評価を得た。バイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ベルリン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、ドレスデン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、英国ロイヤル・オペラ、ベルリン・フィル、ウィーン響、バイエルン放送響などで活躍している。権威あるドイツの専門誌「オーバングェルト」の年間最優秀指揮者などを受賞。24年10月には読響の欧州ツアーを成功に導いた。

©読響

クラシック音楽の歴史に燦然と輝く不朽の名作、ベートーヴェンの交響曲第9番「合唱付き」。最終楽章で高らかに響く“歓喜の歌”は、国境や世代を超えて、人間愛や平和を謳ったメッセージとして、今も多くの人に感動をもたらす特別な魅力があります。「第九」はすべての人の心に寄り添い、新しい年への希望として響くでしょう。

そんな今年の「第九」の舞台に登場するのは、8年目のシーズンを迎えて読響とのコンビネーションが最高潮に達している常任指揮者のセバスティアン・ヴァイグレ。ウィーン国立歌劇場やフランクフルト歌劇場、ベルリン国立歌劇場などで活躍するドイツ・オーストリア本流のマエストロが、ベートーヴェンが残した傑作の真価を発揮するでしょう。

ソリストとして、「タンホイザー」「エレクトラ」で共演しヴァイグレからの信頼も厚い竹多倫子、バイロイト音楽祭などで活躍する日本が誇るメゾ・ソプラノ藤村実穂子、ベルリン国立歌劇場などで輝かしい歌声を披露しているニコライ・シュコフ、ウィーン国立歌劇場など世界の檜舞台で活躍するクワンチュル・ユンら4人の実力派歌手陣が共演。日本が誇るプロ合唱団、新国立劇場合唱団とともに“歓喜の歌”を高らかに響かせます。年の瀬に至福のひと時をご堪能ください。



©FUKAYA Yoshinobu
auraY2

竹多倫子 (ソプラノ)

MICHIKO TAKEDA, Soprano

豊かな表現力で聴衆を魅了するディーヴァ。第47回日伊音楽コンクール第1位、第82回日本音楽コンクール第1位など多数受賞。「フィガロの結婚」伯爵夫人、「ルサルカ」表題役、「トスカ」表題役などで数々の名舞台を築く。2024年3月にバーリ・ペトルツェリ歌劇場で上演された「蝶々夫人」にて表題役を歌い、センセーショナルな成功を収めた。



©R&G Photography

藤村実穂子 (メゾ・ソプラノ)

MIHOKO FUJIMURA, Mezzo Soprano

国際的な活躍を続ける日本を代表するメゾ・ソプラノ歌手。主役級としては日本人で初めてバイロイト音楽祭に9シーズン連続で出演し、ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、またウィーン・フィル、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ響、ティーレマン、アッパード、メータ氏等と共演を重ねている。



ニコライ・シュコフ (テノール)

NIKOLAI SCHUKOFF, Tenor

ザルツブルク音楽祭、エクサン・プロヴァンス音楽祭など世界の檜舞台で活躍する俊英。パリ・オペラ座を中心に、メトロポリタン歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ニュルンベルク州立歌劇場などに出演し喝采を浴びている。また、エッシェンバッハ、バッバーノ、ガッティ、メータら名匠の指揮で世界各地の楽団と共演している。



クワンチュル・ユン (バス)

KWANGCHUL YOON, Bass

賞禄のある朗々と響く声で魅了する韓国出身のバス歌手。長らくベルリン国立歌劇場の専属歌手を務め、「宮廷歌手」の称号を授与された。世界中で幅広く活躍しており、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、パリ・オペラ座、バイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、バーデン＝バーデン・イースター音楽祭などで歌っている。

新国立劇場合唱団 (合唱)

New National Theatre Chorus, Chorus

至高のハーモニーで人類愛を歌う、読響「第九」のベスト・パートナー。新国立劇場で行われる数多くのオペラ公演の核を担う合唱団として活動を展開し、高い評価を得ている。今年1月にはプフィッツナー「ドイツ精神について」でヴァイグレ指揮・読響と共演し、絶賛された。2007年以来、読響「第九」公演に出演。

平野桂子 (合唱指揮)

KEIKO HIRANO, Chorusmaster

読売日本交響楽団

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、日本のオーケストラ音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。現在、セバスティアン・ヴァイグレが常任指揮者を務めている。サントリーホールや東京芸術劇場などで多数の公演を開催するほか、小中学校や病院で演奏するなど、クラシック音楽ファンのすそ野拡大にも地道な努力を続けている。

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター: 0570-00-4390

(10:00~18:00・年中無休)

読響チケットWEB: <https://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可 *チケット郵送料無料

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

共催: 東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団) (20日、26日)

特別協賛: 新菱冷熱工業株式会社 (21日)、大成建設株式会社 (25日)

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術等総合支援事業 (公演創造活動))

独立行政法人日本芸術文化振興会 (20日、22日、26日、27日)

事業提携: 東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団) (25日)

協力: 横浜みなとみらいホール (27日)